

ばらばらウーマン

1979.8月

NO11

長崎女性問題研究会 事務局 松崎澄子 Tel.

再び小沢遼子エンへの手紙

田吉千工

逐次刊行物

74.10.15

国立女性教育会館
女性教育情報センター

若々しい初夏の緑葉を仰ぎながら、清涼飲料水をグツといただいた心地！とでも申しましようか、最近全くやり切れぬ汚いこと多い世相の中、或はこの私共の年輩になると、親しい友人の計が右から左からもとび込んで一寸わびしくなっていたところへのニュースでした。小沢遼子さんのたくましい活躍ぶりでした。浦和市議3回、トツア当選の婦人議員！ほんとによかった！

3月頃から気にかかっていた今頃知るなんてこちらののんびり振りが恥ずかしいと思っっています。2・3日前、鶴さんから生の声で承って、ほんとによかった！と胸がスーッとしています。

長崎県で次から次へと減じて何か女の發言代表者を出し得ぬことが残念でならぬ今春でした。28年勤続議員として婦人の立場から堂々意見を述べ続けた大村市の井石トキ女史を3月最終議会の演説として傍聴に行き、私共の生活と政治との連がり如何に大事かと痛感して来ました。小沢さんの活躍ぶりを身をもって拝見し

に行きたいと思っっていましたか……日常、これ大衆と共に自分を忘れてやるということは、なかなか口には申しても如何に実行が困難であるか分かるような気がします。

溜飲の下るとはこのことだと「おめでとー！」「おめでとう！」「女として「おめでとー！」「お礼を申し上げます。」

美しい、清らかに頑張ってください。長崎の果てよりお祈りしています。（へ6月10日記す）

田吉千工会長が8月9日、原爆慰霊祈念式典で「平和への誓い」を朗読します！

被災協、母子福祉会、長崎を世界に伝える会、ほってんウーマンの会と忙しい毎日を送っておられる会長は、「私の生き方の中心は原爆であり、肉身を失った体験です。原爆体験をもった長崎の女としてどうしてもそれを語りつぐ責任を感じるのです。」と全世界に戦争反対、原爆反対を訴えることになりました。

★お詫び
No10の日付を1978 4月とありますのは

1979のまちがいです。

BWの会アンケート調査の報告

6月15日付で事務局より会員、準会員25名全員にアンケート用紙を配布。そのうち7月末までに17名回答がありましたので、質問項目毎に皆様の意見を紹介します。今後の会の発展に役立てて下さい。

1. BW会へ入会された動機について

- 働く女性と専業主婦との相互理解の接点を求めて。
- 「女性の問題」にも興味があった。
- 桑原様のお誘い。
- 社会に出てからいつも男女差別問題に非常に関心があったことと、職場以外の人達との出会いがほしかったため。
- 宮本、桑原氏の誘いにより入会。
- 女性問題の探究。
- 婦人の地位向上、各個人、ケループとの親睦。
- 後藤みな子さんの講演会時、彼女に「小さい会だけと進歩的な会よ」とすすめられて、「女性のノート」作りを検討する折に友人にすすめられて。
- 後藤みな子さんの講演会の後、桑原さんに誘われて、家庭以外の社会とのつながりがほしかったので。

2. 外年度、特に取りあげたい研究と活動は

- 友人に誘われて、新しい友人を得るため。
- 学習の場として。新しい友人を得るため。
- 老人問題について考えたかったから。
- 「おんな」の問題はものごとろつくと同時に自覚する物だった。時とともにちがう練り方で束縛してくる。その辺をこっそり強く感じていたらしい女たちに再び出会いたくなかった。
- 宮本さんの紹介。特に女の独立！とかソレツ！とかイザ！とかの気がまえなく、女の文化をつくりたい。
- 女性の解放！小さな知的なケループの存在がそのための小さな役割を果たすことができるかもしれない。
- 会員一人一人の「女性問題」についての理念と実践を知りたい。
- 特におりません。
- 12月に忘年会があるが、夏にもう一度会食の場を設けて貰いたい。いろいろ雑誌やら各自の近況報告やいろいろ情報（女に關する問題の）を聞きたい。
- 労基法改悪問題についても。
- 外部より講師を招いて話を聞きたい。（老人問題、経済問題、文学を通しての女性問題など）

3. 例会について日時・場所・回数はいままで通りでよいか。

- 特に持ちあゆせていない。
- すでに取りあげた家計簿(女のノートのこと)に関連してB.W.会の浸透を。
- 今までのいきさつもあり、老人問題に取りくんでみては。
- 老人問題、勤労婦人問題。
- 女性問題について、もっと深く掘り下げていきたい。
- 婦人問題、老人問題。
- 老人問題、具体的に何らかのサービスク活動をしたい。
- 「女のノート」販売を通じて市内の各団体との交流。
- 会全体については①家事労働の評價(男と女の分業についてなど)②小沢蓮子のスピーチを原稿におこすこと。③何でもいい、みんなが自分の力を取りくめるもの。

4. テーマの決め方について

- 遠すぎるし、熱がさめてくるので、月に2回とか……
 - 私の場合、幼児をつれているので、夜は時々辛いこともある。たまには土曜日の午後とか……
 - よろしいが小さな赤ん坊をつれているのでタタミの部屋にしてもうえたら有難い。
 - よろしいが、内容については研究すべき。場所については例会以外のときのみたまり場がほしい。
3. 例会の時、次のテーマについて決めておく……4人
- 年次計画で決めておく……6人
 - 年次計画と例会の……併用……5人
 - いろいろな意見を次に示します。
 - あらかじめ大よそのことを決めていても、何か新しいことがあつたら自由に入れこむことができればよい。
 - 一応、年次計画で決めておき、会員に計画表を配布し、大まかな活動方針を個々に立てさせるようにするとスムーズにいくと思う。
 - あらかじめわかつていた方が、意見も活発に出ると思う。
 - 運営委員十事務局で決める。

- 毎月、何かについて深く掘り下げて討議をし、あうとか、ミニ講演会をするとかして、もっともっと内容を充実させてほしい。
- 取りあげてほしい問題があった時、ハガキなどで申し入れておく。例会の時などで横断して扱う。
- 大まかな年次計画を決め、例会の時、次回の議題の確認をする。
- 大まかではあっても年次計画は必要だと思う。例会の時、次回のテーマ、司会者、期日を決めておくべきだ。
- 大切なのは年次計画をたてること。これを基

5. 文化講演会について

- ◎ 1月15日の開催について、よろしい...10人
- ◎ いろいろな意見

- 春か秋の気候のよい時の方がよい。
- 回数を増やし、有名でなくとも、地域で活躍している女性や会員の中からでも適当な人を選ば実施すればよいと思う。
- 年末年始で多忙でPRしそびれます。4、5月頃から11月頃は如何？
- 1、2月は避けてほしい。11月終か12月初の如何？

- 春とか秋の気候のよい時にしてほしい。
- 一部に1月15日は絶対反対の人がいるし、自身には1月15日に拘わるものは何もない。要再検討!
- 3回を重ねて、1月15日が定着しかかっているのではと思います。いい季節はスケジュールが重なるのでは...

講演にはどのようなものを求めていますか。

- 新しい視点をもったものを臨む。
- 女性の生き方について。
- 文学的なものより生活に密着した経済、動向等。
- BN会の設立主旨にそむかないものであれば、女性の地位向上に關するものや老後のライフワークについて。
- 例年どおりでよい。
- 会で求められたものに同調する。
- 私は文学に興味があるので、今のままでよいと思うが...
- 日常生活に密着し、避けて通りがちな問題をとりあげようあるべきかの方向づけになるようなもの。
- 山崎朋子、もろさわようこ、松谷みよ子など、2人組み合せてやるのも面白い。
- 女力になるもの、知的なもの、素材はなんでもよい。

切符の売りさばき方

◎例年どおりでよろしい……7人

◎わからない……2人

◎いろいろな意見

- 売り先が少ないので困ります。
- 私の住む地域が離れているため切符の売りさばき等協力できない。
- 末端にいては何やら訳がわからないうちに慌しく過ぎていく。事前にもっと打ち合せるべきだ。
- もっと団体に呼びかけるとか、講演会の前にマスコミに働きかけるなどしてPRをしっかりとちやいけないうちと思う。個人のかでは限られている。
- 配布先は全然知りませんので……
- 入ったばかりでよくわかりませんが、幅広くあるべきだと思う。各人5枚は責任をもつというように。
- さばききれない時は返してもよいようにしてほしい。
- 新しい層を開拓して売ること。
- 中央部の窓口（商店とタイアップして）がほしい。

入場料金は例年通りでよいか

◎よろしい……11人

- 但し赤字にならないように。
- 多くの人に来てほしいなら今の料金が妥当。

◎わからない……3人

◎その他の意見

- 30円を基準に。
- 赤字に越したことはないが、B.W.会の啓蒙運動としての役割が果たせれば、収支に見合った範囲で流動的に。
- 講演会に要する費用との関わりで考慮する必要があるのでは……？（安い方がもちろんよいのですが）

文化講演会の経費は入場料のみでよいか

◎よろしい……10人

- 受益者負担でよいと思います。
- 入場料の範囲でやればそれがいとおもう。

◎わからない……2人

◎いろいろな意見

- チケットの裏に宣伝をいれる。

6.

会報について

- 皆さんの意見を充分に聞きたいもの。
- 会場の入口に箱をおくか袋を回すかしてカンパも募ったらいよいよと思う。
- *子供をあづかれるように準備するのが当然だと思ふ。
- B.W.会で何かパンフや講演会の記事などプリントし、一部100円ぐらいで売り、収入を得たりする。
- 講師の本を売る。(今までの講師を含めて)
- 講演会のテープをプリントして有料で貸しつける。

◎必要と答えた人……17人

◎会報は毎月発行した方がよい……4人

- 会員の連帯をはかるためにせむしヶ月に1度は必要。
- 実行する方法等よく研究したい。無理にならぬように。

◎隔月発行がよい……3人

◎その他の意見

- 内容次第で。
- 理想的には毎月、無理なら2ヶ月に1度。

会報の配布先について

- 会報に対して会員全員の意欲があれば一ヶ月1回の会報がよいと思うが、現在のところ2ヶ月に1回でよいと思う。充実がほしい。
- 原則として隔月発行を守りたいが、原稿の集まり方、編集スタッフの都合、外的条件によって流動的にならざるを得ない。
- 2・3ヶ月に1回。
- まっちりと決めないで情報や原稿が集まる程度出すというようにしたらよい。
- 会員各自の活動、寄稿状況を考えると、現状なら隔月でよい。
- 毎月発行で、紙面も充実が理想的だが、原稿の集まり具合や発送に要する費用とも関連すると思ひますので。
- 寄稿及び投稿があればいいが、編集の穴の程度のものはかりになると困る。
- 原則として2ヶ月に1回としていて、無理な時は流動的に。
- 毎月発行をのみみますが、原稿の集まりとか機関誌発行担当のメンバーが少ないので無理のようです。

◎新聞社……10人

◎県・市の広報室……5人

●首長にもという声あり。

◎銀行……3人

- ・九州相銀、労金に限っていいばいいと思うが、まづ各銀行、面接して反応をみてから。
- ・口コミで渡す方が読んで貰えると思う。ただ何う時向のあるところ（銀行、美容院など）はいいかもしれない。

◎婦人部のある組合……12人

◎その他の意見

- ・市内各大学新聞部友人。
- ・ミニコミを置いてくれるような喫茶店など。
- ・あごら^ら等、同じ目的の団体にも、会員一人に付き教部ほしい。
- ・女性問題のケル^ル。但しも、と内容の充実をほかる必要がある。
- ・婦人団体、ケル^ルアの確かなところへ郵送。
- ・各機關へは5部ぐら^らイ^イツツにし、書店などにも置かせてもらう。

会報の内容について

- ・もつと掘り下げた内容。女性としてのしたたかな生き方の記録や各々もっている職業上の女性の地位などについて意見発表や読者コーナー、文芸コーナーなど。

- ・会員相互の情報交換。その問題に常に取り組むべき。何でもいえる、何でも書ける場であリたい。

- ・会員一人一人の考えていること、行動していることを具体的に。

- ・今までのものでもよろしい。

- ・編集者一任。

- ・作っていただけで感謝、もう少し時事性感的なものほほしい。

- ・ミニコミに徴すること。具体的なこと。評価も自命の頭で考えたもの。

- ・私は今、ハウスネー^ネパー^{パー}を求めている。その職を求めている人も多いとおもう。で橋わたしのコーナーを。

- ・会の主旨からしてウーマン・リケに因する記事がほほしい。

- ・本の紹介。

- ・女性として社会の要望に充て得るB.W.会の在リ方を。

- ・例会が毎回テーマに沿って各会員のもつてい

- ・るものを出版するように。たら次の会報にその話の詳述を載せるようにしたらよい。

- ・会員相互の情報交換。

- ・会員相互の理解を深めるもの。

- ・現在出ているもので情報の交換がでせると思

会報について例会で意見の交換は

- ◎したほうがよい……12人

但し、今の例会の時間をさいてと考えると考える。

●もつと遠慮のない意見の交換が必要。
●会報の配布先が広範になれば特に検討が必要
と思う。

●例会だけでは時間的に足りないのではないか、
●読みっぱなしより、意見の交換をした方がよ
り会報もいいものになるし、作られる方もは
りかでてくると思う。

●例えば文芸コーナーだと合評会にしてもいい
し、読書会でも楽しい。取组的な内容だったら普
段、疑問に思っていることなど尋ねられる。

◎その他の意見……5人

●内容次第で。

●意見の多い内容について検討しては……

●時に応じて流動的に。

●例会ではとり上げるものがあると思いますが、
で、会報を読むだけで結構です。

●例会では時間的に無理だと思う。

●会員の皆さんがハがキ一枚でよいから短かつ
いたこと、これだけはいいたいと思うことを
編集人宛に送ってほしい。

あなたがB/Wの会に提供できるものは

◎時間……5人

◎労働……5人

◎編集……2人

◎資料……2人

◎研究発表……7人

◎情報……3人

◎その他の意見

●特にありませんので短縮していきます。

●特定のものを探検できないが、少しアツのお
手伝いならできます。

●今のところ申し訳ありませんが、時間が足り
ない。

●時間が許せば何事も協力しようと思っていま
す。

●時間といつても例会にすら必ず出られるとい
うこともなく、いつでも……というわけもなく、
子どもがうまれて日が浅く、どのように関わ
れるか、模索中というところでは。

●自分でもっている範囲の情報の提供。

・無理なほど提供してきます。限度以上です。少くともここしばらくはタイヘン。他の方々が力を出し合うよう検討することか大切。

・自分で書いたエッセイや小説、詩などは、微々たるものですが……

・新聞切抜をやっています。

・女性関係の本を(図書館のも含めて)なるべくたくさん読むようにしています。

・私は一応アンケートに私なりの答えを書いてみたが、現在の私は会員として資格に欠しい。ただ会費を納めるだけが出来ること、アンケートの答えを出す資格は何もない。

・即ちBW会の目的方向と私の住む環境、仕事、年令等がかけ離れていることです。

・私は現在、会員となっていないことから、脱退することに決心しています。

・BW会の御発展を祈ります。

会費について一ヶ月正会員300円、準会員200円について

◎ よろしい……10人

・高くない方がいい。気軽に入会をすすめてくれるし、やめる人が出てても何ともないように。

◎ その他の意見

・正と準にどのような違いがあるのか、又300円

と200円の根拠も実はよくわかりません。正会員であつてもあまり出席しない人もいるので準会員と區別する必要はないと思う。

・現在、納入状況は100%ですか？

・100%なら現状でOK。そうでなければ、担当者は100%回収するよう努力すること。

・他にバカ(市従組の儘しに協力していただいいて)

・1円玉・5円玉カンパ。

・その他会員外から募金をつのることなど考えたい。

・これも皆様の意見を充分聞きたいもの。

・会計と相談して内容訂議必要。

・正・準会員についてもう一度会則を見直してはどうでしょうか。正・準会費をなくし一律に考える。

・会費は年間の事業計画との関わりで算出すべきだと思ふ。

・年間会費として年に三千元ぐらいがいいのでは？一ヶ月200円でも年間で三六百元となり少々負担です。

・一ヶ月五百円程度の会費の値上げをしては如何でしょうか。

・会費徴収の方法を2、3回に分割支払いにしては如何でしょうか。

★会報NO11の発行が遅れたのもアンケートの回収になかなか手回らなくて……

・田吉会長原稿が6月10日付なのもそういう訳なのです。回収率53%というのも残念！

★ ☆ ★

★7月例会から(於市民会館 7月18日水)

司会 本田 6時半〜9時

◎「女のノート」が定価4円で発売の見込みがたちました。

前回、不調に終わった印刷業者が100部協力販売を約束してくれました。

看護学校の加藤・西山さんの200部の大口購入も含めて前途に明るい光がさしてきました。9月発売までに会員の皆様の一層のガンバリを期待します!

◎国際婦人年政策の要求項目に従って女性の地位向上を目指す市長交渉の提案がありました。目下、資料収集中! 市従組婦人部とも連携して、今後例会で積極的に取り組んでいきたいと思います。

★新宿には「あいら」を置いてある喫茶店があるそうです。

ゆが街、長崎にもひとつくらいはあってんわーマンに好意を寄せてくれるお店があつてもいいですよネエ!
今のところ、万屋町のVORICEに「女のノート」のパンフレット、会報を置かせて頂いています。見知らぬ人が「魔女の語、面白かったよ。」って、

会報の感想をホキホキ聞かせてくれるようになりました。

ご好意に甘えて、今後、教頭の拠点として、大いに利用させていただきましようヨ!

★市民会館中央公民館図書室に、夕方の

5時以降の返本用ポストができました。

これで更に利用しやすくなりましたね。「希望の本箱」にもどしどし私たちが必要な女性問題を扱った図書の購入希望を申し入れましよう!

★もうさゆようこ編集、解説の

「トモメント女の百年」(定価4円、平凡社)が全巻巻、5冊の取り組みの中から完成しました。中央公民館図書室に入っています。

- 1. 女の一生
- 2. 女と教育
- 3. 女のはたらき
- 4. 女の中から
- 5. 女と権力
- 6. 女たちの明日

★訂正

「女のノート」パンフレットに「体裁B版」とあるのはA5版のまちがいです。

★長崎の姉妹都市ミデルブルフ

津田尚美

オランダの小さな港町、ミデルブルフの海岸を歩きながら、かつてこの港より長崎へ向かって船が出て行った、との話を聞く。その頃から海に向って置かれていた大砲は今もまだ使えるとか。その後ろの古い建物はヨーロッパ最初のホテルとか、軒がな銜並みを歩きたがう、今はヨットハーバーになっていてこの港で、その当時何人かのピタンが二度と戻ってこれぬかもしれぬ寂しさをどうして打ち消したろうか。出航の喜びと希望で胸躍らせたろうか。など当時を偲びながら、造船所のあるとのレストランで食事をした。そして長崎へ帰り、偶然昔の長崎の港の石垣の一部がコンクリートの中に埋めこまれようとしているのを見た。

ルセ記、ポルトガル人が適当な港を探していた頃、長崎の深い入江と、まわりから高い丘を見て、ここを港と決めた。かつてヨーロッパのお城のたたずまいは丘の上、海をよば、川のおち、必ず片方が岩壁になっており、ここ長崎も又、今の暴行のところが小高い岬で下が海になっていて、万才町の電話局の裏手に公園とはいいいがたい狭い空き地に下る階段があり、そこが船着き場だった。大小のいか

にも人の手で築き上げたものがある。当時の石垣の一部が新しいコンクリートの壁の中に埋めこまれようとしていた。その周辺の崖は、ずつと家の中に組み入れられたり、新しい石垣に直されたりしている中に唯一ヶ所残っている石垣だった。コンクリート車の音を聞きながら、オランダで、あの少しアツアツの指さしながら、オランダの人が、ここは昔のままに再現し、又残している所ですと誇らしげにつれて回ってくれたのを想い出す。

私は今、又昔の長崎がこわされていくのを知り、文化のちがいが、歴史のちがいが、行政のちがいが、いろいろ自分自身のいいわけをつけて黙ってみている。

女の歴史とか、立場とか、それと同じだと思ふ。私たちは今、それに気づきながらも、何ともまどかしい力のなさを感ぜながら、やっぱりみつめていただけだろうか。

ご意見、ご批判をお寄せ下さい。

編集 鶴 初美

岸本 桂子

★新会員紹介

伊藤康子

私、法政大学の通信教育部の4年なので、
筋類と仕事(証言の会)が両立しなくてはな
りませんけど。それにもかかわらず、井の
中の騒が、はずかし気もなくぼつてんうーま
んの会に入会することになったのです。
お笑い下さい。
しかし、できる限りのことはみなさんに負け
ないように、会のためがんばる覚悟ですの
今後ともよろしくお願いします。

♪今、頭の中にあるもの♪

長崎に出て来て、はや2ヶ月半……。教多い
不安を抱き暗中模索していた自分にヒリオド
を打つために現行動に踏み切ってしまった。
新しい環境に果たしてうまく順応することが
できるかどうか!という不安は徐々に薄ら
いでいった。というのも、自分の心の持ち方
次第だと思い、明るい方向へ導いていったか
らである。毎日を真剣に有意義に生きていること
それは口で言うように簡単なことではすま
ぬ。今日、あまりに抽象的すぎるからであ
り、今日の自分にとつて一日という日がどれ
位の重みをもっているか理解に距離があった

からである。

しかし、慣れきった今、壁を環境を故意に変
化させた自分の決断を正しかつたと思つている。
片田舎でのマシネリ花した生活は、私をそのま
まずつと年の中のかみずにし、女性としての立
場を踏みにじつてしまふことになつていた
からである。その土地の気質は二十数年住み慣
れていた私にとつてしつこいほど身についてい
た。私はそれに耐えられず、苦悶し続けていた。
本当に私はここに生活して自己を周囲の環境に
埋没させてしまつていいのだらうかと。自立心
の問題もあつた。行動を起す決心がついたの
である。

今、仕事をしている中長崎の証言の会には自分
の無知に恥ずかしさを感じたことと純粋を失して
いる。原爆という、長崎に住んでいては不可避
な事象に今まどうとあつたことを非常に恥ずか
しく思つた。その思いを胸に、今、私がやらね
ば!という一種の負いを感じている。戦後
育ちの身が、戦争に因することと胎児の心を
持たずやり過こしてきたことを考へる時、赤面
する次第である。知るべきことを知らなかつた
罪への償い、それが今日、私を長崎の地で生活
させる最も根幹的なものといえる。
約2ヶ月半の出来事が走馬燈のように流んで
は消えていく、私の頭の中。

編集をいっしょにやってくたさる方名のりをおげ
下さい。私、今の状態に非鳴をあけろう! 岩本